

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁
メールニュース12月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、 plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

-----● 年末・年始の業務予定について ●-----
当センターでは12月27日(土)より1月4日(日)まで業務を休ませていただき、5日(月)より通常の業務を行います。

-----● NBRPシンポジウムについて ●-----
ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)では成果報告会を1月20日午後1時より東京コンファレンスセンター・品川(JR品川駅港南口徒歩2分)にて開催します。
<http://www.nbrp.jp/office/events/NBRP2014symposium.pdf>

-----● リソースの寄託について ●-----
実験植物開発室では、我が国の貴重な財産である変異体種子・培養細胞株・遺伝子材料などをお預かりします。お手持ちのリソースの寄託をご検討いただける方からの相談は随時受付けておりますので、plant@brc.riken.jpまでご一報ください。

-----● テクニカルサポート(No. 16) : シロイヌナズナ T87 培養細胞の形質転換法について ●-----

培養細胞を用いる際の大きな利点は、細胞の均一性です。植物においては、葉や根などの組織が存在しています。葉だけに着目しても、さらに細かく細胞の種類が分化しています。一方で培養細胞の場合、本質的に細胞特性は均一性が極めて高く、生化学的な解析などに最適といえます。シロイヌナズナ T87 細胞は、Axelos (参考文献 1) らによって 1992 年に樹立が報告されて以来、多くの研究に用いられてきました。プロトプラストを用いた一過性の発現実験や、アグロバクテリウムを用いた形質転換実験にも適しており、シロイヌナズナ研究の脇役から主役をもこなす、なくてはならない存在となっています。

2014 年も残りわずかとなってきましたが、今年も T87 細胞への遺伝子導入実験を用いた優れた研究が SCIENCE 誌、PNAS 誌、Plant Cell 誌などに報告されています。当室のホームページのラボマニュアル欄には、植物培養細胞(T87 細胞)の形質転換技術についてのプロトコルを掲載しております。是非、ご参考にされると共に、これまで T87 細胞をご使用になったことのない方も、新たに実験系の導入をご検討されてみませんか?
http://www.brc.riken.jp/lab/epd/plant/c103_spec.php?file=1419237944_09355700.1

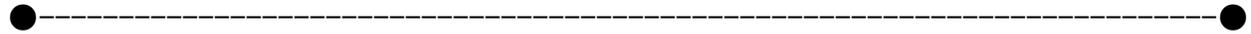
og

http://epd.brc.riken.jp/manual/transformation_0802

当室ではアグロバクテリウムを用いた T87 細胞の形質転換に関する技術研修を行ってきました。今年度は新たに、プロトプラストを用いた一過性の発現実験についての技術研修を実施しました。T87 細胞への遺伝子導入に関するご質問、また、技術研修内容などに関するご要望などありましたら、plant@riken.jp まで、お気軽にご問い合わせ下さい。

参考文献

Axelos M et al. (1992) A protocol for transient gene expression in Arabidopsis thaliana protoplasts isolated from cell suspension cultures. Plant Physiology and Biochemistry 30: 123-128



● 利用者の皆様へ ●

本年も当センターのリソースをご利用いただきありがとうございました。新年もよろしくお願いたします。



❁*:・'° ❁° '・*::. ❁.:*:・'° ❁。.:*:。.:*❁

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://epd.brc.riken.jp/>

❁*:・'° ❁° '・*::. ❁.:*:・'° ❁。.:*:。.:*❁